

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成22年4月15日(2010.4.15)

【公表番号】特表2009-528897(P2009-528897A)

【公表日】平成21年8月13日(2009.8.13)

【年通号数】公開・登録公報2009-032

【出願番号】特願2008-558369(P2008-558369)

【国際特許分類】

A 6 1 M	1/28	(2006.01)
A 6 1 M	1/14	(2006.01)
A 6 1 M	1/36	(2006.01)
B 0 1 D	61/02	(2006.01)
B 0 1 D	63/02	(2006.01)
C 0 2 F	1/42	(2006.01)
C 0 2 F	1/28	(2006.01)
B 0 1 J	39/04	(2006.01)
B 0 1 J	39/12	(2006.01)
B 0 1 J	39/18	(2006.01)
B 0 1 J	41/04	(2006.01)
B 0 1 J	47/02	(2006.01)
B 0 1 J	43/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 M	1/28	
A 6 1 M	1/14	5 2 5
A 6 1 M	1/36	5 4 5
B 0 1 D	61/02	5 0 0
B 0 1 D	63/02	
C 0 2 F	1/42	Z
C 0 2 F	1/28	D
B 0 1 J	39/04	H
B 0 1 J	39/12	
B 0 1 J	39/18	
B 0 1 J	41/04	H
B 0 1 J	47/02	G
B 0 1 J	43/00	Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月23日(2010.2.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

患者の腹腔への流入および腹腔からの流出を提供するための構成要素に連結される1つ以上のアクセスポート；

患者の腹腔に注入され、腹腔から移動され、それによって腹膜透析溶液に拡散した尿毒症代謝物を患者から除去するある体積の腹膜透析溶液；

腹膜透析溶液を、患者からシステム全体を通って患者に戻す循環をするための閉環流体

システムループ；

腹膜透析溶液を患者の腹腔に注入し、尿毒症廃代謝物を含む腹膜透析溶液を患者の腹腔から出し、流体システムループに移動させるための流体システムループに結合される少なくとも1つのポンプ；

過剰の流体を排出するための流体システムループに結合される交換可能な排出コンテナ；

尿毒症廃代謝物を含む腹膜透析溶液から微粒子および有機堆積物を除去するための流体システムループに結合されるフィルター；ならびに

腹膜透析溶液を再生するための流体システムループに結合される交換可能なカートリッジ、該交換可能なカートリッジは、カチオンを拒絶する尿素除去層を有するを備える、患者のための着用可能な腹膜透析システム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項13

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項13】

尿素除去層がカチオンを拒絶する組成物を含み、該組成物は、イオン選択ナノフィルトレーション膜から構成される中空ファイバー、カチオンを拒絶する物質の層を含む中空ファイバー、イオン交換膜、および尿素除去成分を囲む被包(encapsulation)からなる群より選択され、該被包はカチオンを拒絶する物質から構成される、請求項10記載の交換可能なカートリッジ。

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項26

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項26】

ある体積の腹膜透析溶液を提供する工程；

腹膜透析溶液を1つ以上のアクセスポートを通して患者の腹腔にポンプで輸送し、患者の尿毒症廃代謝物を腹膜を越えて腹膜透析溶液に拡散させる工程；

尿毒症廃代謝物を含む腹膜透析溶液を患者の外かつシステム内にポンプで輸送する工程；

過剰の流体を交換可能な排水コンテナに排水する工程；

尿毒症廃代謝物を含む腹膜透析溶液から微粒子および有機堆積物を濾過する工程；

カチオンを拒絶する尿素除去層を有する交換可能なカートリッジを使用して、尿毒症廃代謝物を含む腹膜透析溶液を再生する工程；ならびに

再生された腹膜透析溶液を患者の腹腔に戻す工程
を含む、患者から尿毒症廃代謝物を除去する方法
に使用する、着用可能な腹膜透析システム。

【手続補正4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項27

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項27】

マイクロプロセッサを使用して、ポンプ流量ならびに透析システムの構成要素のタイミングおよび順番付けを制御する工程をさらに含む、請求項26記載の腹膜透析システム。